

進出国：カンボジア



ウィルスフリーのさつまいも生産  
成長点バイオ技術の活用

(株) 吉村農園インターナショナル

代表取締役社長 吉村 浩明

# カンボジアで鳴門金時ができた

## カンボジアからの技能実習生の皆様とのご縁から

当社は、徳島県鳴門市でさつまいもの生産をしています。農業生産の現場では早くから外国人の方の力が必要不可欠になっており、当社でも技能実習生を受け入れ、さつまいも生産の技術を伝え生産を支えてもらっています。厳しい仕事ですが真剣に、明るく取り組む彼らの姿勢は素晴らしいです。特に、カンボジアの実習生は、父をお父さん、私をお兄さんと呼ぶようになり、家族のように、とても慕ってくれるようになりました。そんな彼・彼女らが、母国に帰ると、当社で学んだ技術を生かす機会がありませんことがわかりました。カンボジアで日本のさつまいもを作りたい、彼らには協力してもらえはと考えるようになりました。

## JICA の委託事業（案件化調査）を活用した調査

母国に帰った技能実習生と話していると、「日本のさつまいもが食べたい」とみなが言います。何とか彼らと一緒にカンボジアで鳴門金時作りに取り組みたいと、吉村農園インターナショナルを設立して本格的に検討を始めました。ビジネスとして根付かせるためにはしっかりとした取り組みが必要です。まずは、JICA の「案件化調査」の仕組みを活用して、生産実験、需要調査、販路調査に取り組むことにしました。そのような時に(株)ワールド・ビジネス・アソシエイツ(WBA)のコンサルタントの方と出会い、本格的に支援をしていただくことになりました。

## カンボジアでの鳴門金時生産に成功

JICA 案件化調査のおかげで多くの協力者と出会うことができ、洪水の多いカンボジアでも当社の技術が有効であることがわかり、おいしいさつまいもを作ることができました。JICA 関係者、現地の大学等の関係者、WBA コンサルタントの方々には大変親身になってご支援をいただきました。引き続き、WBA に相談し、技能実習生と一緒に事業を立上げていきたいと思っています。



WBA  
コンサル  
の声

カンボジアには WBA と一緒に仕事をさせていただいた方も多くおられ、その経験も生かすことができました。吉村様には大変よくしていただき、気持ちよく仕事ことができました。鳴門金時ができた時の感動を胸に刻みに、今後の事業化支援をさせていただきます。